

## 5.15 沖縄平和行進参加報告書

全港湾 東北地方ひたち支部青年女性部

副部長 大亀 慶太

2024年 復帰52年「5.15 沖縄平和行進」に参加してきました。私は2回目の参加で前回参加したのが7年前になります。7年前と大きく変わったのが行進の日程です。前は3日間でしたが、今回の行進は1日と短くなっていました。いろいろな事情があって行進日数に変更があったのだと思います。沖縄の方や全国の仲間たちの思いを噛みしめ平和行進が始まりました。

平和行進では今年も全港湾は普天間基地包囲コース 南ウイングの先頭を歩かせて頂きました。後ろを振り返るとその行進の規模の大きさに胸が熱くなりました。シュプレヒコールが始まり全港湾の仲間達が声を上げ、みんなの思いが一つになるのを感じました。とても気持ちが良かったです。行進で歩いた道はアップダウンが激しくとてもきつかったです。次の日にとんでもない筋肉痛になりました。

ひめゆり資料館の視察では、地上戦の悲惨さを改めて学びました。ひめゆり資料館に行くのは修学旅行も入れれば3回目でしたが初めて涙が堪えられなくて途中で退席してしまいました。平和が素晴らしいという事を忘れずに生きて行こうと思いました。また戦争は二度と起こしてはならないと改めて思いました。

嘉手納道の駅から嘉手納基地を見て規模の大きさに沖縄の半分はアメリカなのではないのかと思ってしまいました。戦闘機の騒音、臭い、オスプレイが墜落するかもしれないという不安を抱えて地域住民の方が生活していると思うと心が痛くなりました。

辺野古の海はとても綺麗で仲間達と興奮しながら写真を撮りました。その綺麗な海に辺野古の新基地を作るなんて言語道断です。沖縄の綺麗な海を守りたいと思いました。

今回の沖縄平和行進を終えて、より反戦平和運動の重要性が身に染みて分かりました。沖縄平和行進は沖縄から米軍基地が無くなるまで続けて行く必要があると思いました。活動を残して行くことは非常に難しい事であると思っております。行進が3日から1日になった事も活動を残す為の進化だと私は感じました。これからも沖縄の為、世界から戦争が無くなる為、皆さんと一緒に一致団結して頑張っていきたいと思います。